

ほけんだより 2月



2023(R5)年 2月1日
御殿山あゆみ保育園
看護師 奥野ゆきえ

暦の上では立春ですが、まだまだ寒い日が続きます。当園では、インフルエンザ A が蔓延しています。また、近隣では、感染性胃腸炎も流行しています。免疫のない乳幼児は、発症しやすく重症化することがあります。うがい・手洗いを励行し、バランスの良い食事と十分な睡眠を心掛けましょう。

今回は、冬に多い『やけど』と、『歯の衛生』について、お知らせします。

【家庭内の乳幼児の事故で一番多いのは『やけど』！】

熱いという感覚が未発達の乳幼児は、熱い物に長く触れてしまうことがあり危険です。寒い時期に、子どもの目線で家の中の危ない所や物を点検しておきましょう。

★低温やけどは、意外と危ない！

⇒低温やけどは、心地よいと感じる温度(40℃～50℃程度)の物に長時間皮膚が接触して起こります。

電気毛布やホットカーペット、電気あんかなどを使用する際は、寝床が温まったら電源を切るか、温度設定をさげるなど注意しましょう。

※低温やけどは、じわじわと皮膚の深部まで達し痛みを感じにくく、重症化しやすい。



★電気ケトルやカップラーメンの待ち時間でやけど！

⇒熱湯の入った容器が倒れやすいので、子どもの手の届かない所で準備しましょう。

電気ケトルは、お湯漏れ防止機能などの安全対策がとられた製品を選びましょう。



★炊飯器や加湿器の蒸気吹き出し口に触れてのやけど！

⇒床や子どもの手の届く所にはおかないようにしましょう。

★ヘアアイロンでのやけど！

⇒電源を入れたまま放置すると、30秒で100℃に達するので、一瞬の事故につながります。

子どもの手の届く所には置かないようにしましょう。

《基本の手当》

①水道の流水で冷やす→衣服を着ている場合は、衣服の上から。顔は、ぬれタオルで。

②子どもの手のひらで全身の1%として、やけどの大きさをチェック。
→1%を超える時は、すぐ病院へ。

※悪化や感染の可能性があるため、薬や油・アロエなどはつけない。

また、水ぶくれは破らず、清潔なガーゼで覆い受診。



【歯を大切にしましょう！】

幼児クラスを対象に、ブラッシング指導をしました。しっかりとお話を聞いてくれました。

また、2022年度宝塚市内保育園の歯科検診結果がでましたので、ご報告いたします。

御殿山あゆみ保育園は、虫歯のある児が96名(2歳児～5歳児)中15名で1人当たりの虫歯数は平均2.1本(全国平均3.1本)でした。

虫歯の罹患率は、R2年度12.2%・R3年度11.3%・今年(R4年)度は15.3%(全園平均は11.3%)でした。今まで減少傾向でしたが、今年度は増加に転じてしまいました。

歯ブラシの際に歯磨き粉を使った方が良いとお考えの方がいますが、歯科医のお話では、歯磨き粉には研磨剤や発泡剤が含まれていることがあるため、子どもには使用しなくて良いとのこと。

歯磨き粉を使うのであれば、フッ素入りの子ども用歯磨き粉を使用して下さい。フッ素は、説明書に従った分量で使用するのであれば、危険はないとのこと。

コロナ禍ですが、罹患率が減少するよう『歯の衛生』について関心を持っていただき、

『規則正しい食生活』や『仕上げ磨き』などに、ご協力をお願いいたします。

